

科目名		総合英語Ⅱ (Comprehensive English II)							
学年	学科(コース)	単位数		必修/選択	授業形態	開講時期	総時間数		
第2学年	機械工学科 電気工学科 制御情報工学科 物質工学科 経営情報学科	履修	2単位	-	講義	通年 90分/週	60時間		
担当教員		【常勤】池田 晶							
学習到達目標									
科目の到達目標レベル	1年次に行った英語学習を踏まえて、語彙を増やしつつ基礎的な英語運用力を身につける: (1)基本的な言語材料を含む、まとまりのある文章を理解することができる。 (2)内容に関する質問に英語で答えることができる。 (3)学習した表現を使って、内容についてまとめたり、自分の考えを簡潔な表現で表現したりすることができる。								
学習・教育目標	(G)②	JABEE基準1(2)							
関連科目, 教科書および補助教材									
関連科目	総合英語Ⅰ								
教科書	①「My Way: English Communication II」(三省堂)、②「同ワークブック「スタンダード」」(三省堂)、③「STEP UPノート」(ベネッセ)								
補助教材等									
達成度評価 (%)									
評価方法 指標と評価割合	中間試験	期末・学年末試験	小テスト	レポート	口頭発表	成果品	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	35	35	15					15	100
知識の基本的な理解 【知識・記憶、理解レベル】	◎	◎	◎					◎	
思考・推論・創造への適用力 【適用、分析レベル】									
汎用的技能									
態度・志向性(人間力)									
総合的な学習経験と創造的思考力									
学習上の留意点および学習上の助言									
<p>【授業態度について】 「教材を持ってこない」、「私語をする」、「携帯電話を使用する」、「居眠りをする」、「飲食する」、「出席したとしても全く授業に参加しない」、といった態度や、配布したプリント類を紛失した場合は、自分だけではなく、周りの学生に悪影響を及ぼすので、大幅な減点対象とします。本の辞書でも電子辞書でも構いませんので、辞書は必ず持参してください。</p> <p>【勉強の仕方について】 小テストは頻繁に実施しますので、予習と復習にはじっくりと取り組んでください。予習の段階で英文に目を通して分からない単語や難しそうな英文に見当をつけておいて授業で確認する、という方法を身につけると効率が良いと思います。外国語の学習は自分から学ぶ、という姿勢を身につけることが大切ですので、分からないことがあったら、授業中でも授業以外でも、気軽に質問してください。</p>									

授業の明細			
回	授業内容	到達目標	自学自習の内容 (予習・復習)
1	導入:概要説明	授業の目的・評価基準・評価方法、教材の確認	次回の授業の単語調べと本文確認
2	Lesson 1 ・本課の文法(SVC, SVO)と単語	・SVC, SVOについて理解できる。 ・新出単語を発音し、使うことができる。	次回の授業の単語調べと本文確認。新しい文法事項を用いて英作文にも挑戦。
3	Lesson 1 ・前時の復習と小テスト ・本文読解と語彙・文法事項確認	・すばやく情報を伝えるピクトグラムを知る。 ・本文中のSVC, SVOを理解できる。	次回の授業の単語調べと本文確認。各自でワークブックや問題集に取り組む。
4	Lesson 1 ・前時の復習と小テスト ・確認問題を通して、学習事項を復習する。	・ピクトグラムについて理解できる。 ・本文の要約が出来る。	次回の授業の単語調べと本文確認。各自でワークブックや問題集に取り組む。
5	Lesson 2 ・本課の文法(SVOO, It seems that節)と単語	・SVOO, It seems that節について理解できる。 ・新出単語を発音し、使うことができる。	次回の授業の単語調べと本文確認。新しい文法事項を用いて英作文にも挑戦。
6	Lesson 2 ・前時の復習と小テスト ・本文読解と語彙・文法事項確認	・アジアの様々なお正月を知る。 ・本文中のSVOO, It seems that節を理解できる。	次回の授業の単語調べと本文確認。各自でワークブックや問題集に取り組む。
7	Lesson 2とLet's Try 1 ・前時の復習と小テスト ・確認問題	・アジアな様々なお正月について理解できる。 ・本文の要約が出来る。	次回の授業の単語調べと本文確認。各自でワークブックや問題集に取り組む。
8	中間まとめ	中間まとめとして試験を実施	
9	Lesson 3 ・本課の文法(形式主語／形式目的語)と単語	・形式主語／目的語について理解できる。 ・新出単語を発音し、使うことができる。	次回の授業の単語調べと本文確認。新しい文法事項を用いて英作文にも挑戦。
10	Lesson 3 ・前時の復習と小テスト ・本文読解と語彙・文法事項確認	・地球にやさしい発明品を知る。 ・本文中の形式主語／目的語を理解できる。	次回の授業の単語調べと本文確認。各自でワークブックや問題集に取り組む。
11	Lesson 3 ・前時の復習と小テスト ・確認問題	・地球にやさしい発明品について理解できる。 ・本文の要約が出来る。	次回の授業の単語調べと本文確認。各自でワークブックや問題集に取り組む。
12	Lesson 4 ・本課の文法(SVOC・使役動詞／知覚動詞)と単語	・SVOC・使役／知覚動詞について理解できる。 ・新出単語を発音し、使うことができる。	次回の授業の単語調べと本文確認。新しい文法事項を用いて英作文にも挑戦。
13	Lesson 4 ・前時の復習と小テスト ・本文読解と語彙・文法事項確認	・ブラジルについて知る。 ・本文中のSVOC・使役／知覚動詞を理解できる。	次回の授業の単語調べと本文確認。各自でワークブックや問題集に取り組む。
14	Lesson 4とLet's Try 2 ・前時の復習と小テスト ・確認問題	・ブラジルについて理解できる。 ・本文の要約が出来る。	次回の授業の単語調べと本文確認。各自でワークブックや問題集に取り組む。
		期末試験	
15	まとめとReading 1	前期のまとめ 夏休みの宿題の確認	

授 業 の 明 細			
回	授業内容	到達目標	自学自習の内容 (予習・復習)
16	前期の確認と夏休み宿題テスト	テストを通して、前期の確認を行う。	テストで出来なかったところを各自確認。
17	Lesson 5 ・本課の文法(関係代名詞)と単語	・関係代名詞について理解できる。 ・新出単語を発音し、使うことができる。	次回の授業の単語調べと本文確認。新しい文法事項を用いて英作文にも挑戦。
18	Lesson 5 ・前時の復習と小テスト ・本文読解と語彙・文法事項確認	・目で伝えるコミュニケーションを知る。 ・本文中の関係代名詞を理解できる。	次回の授業の単語調べと本文確認。各自でワークブックや問題集に取り組む。
19	Lesson 5 ・前時の復習と小テスト ・確認問題	・アイコンタクトについて理解できる。 ・本文の要約が出来る。	次回の授業の単語調べと本文確認。各自でワークブックや問題集に取り組む。
20	Lesson 6 ・本課の文法(完了形・未来進行形)と単語	・完了形・未来進行形について理解できる。 ・新出単語を発音し、使うことができる。	次回の授業の単語調べと本文確認。新しい文法事項を用いて英作文にも挑戦。
21	Lesson 6 ・前時の復習と小テスト ・本文読解と語彙・文法事項確認	・「エレベーターで宇宙の旅へ」の物語を知る。 ・本文中の完了形・未来進行形を理解できる。	次回の授業の単語調べと本文確認。各自でワークブックや問題集に取り組む。
22	Lesson 6とLet's Try 3 ・前時の復習と小テスト ・確認問題	・「エレベーターで宇宙の旅へ」を理解できる。 ・本文の要約が出来る。	次回の授業の単語調べと本文確認。各自でワークブックや問題集に取り組む。
23	中間まとめ	中間のまとめとして試験を実施する	
24	Lesson 7 ・本課の文法(助動詞と完了形ほか)と単語	・助動詞と完了形について理解できる。 ・新出単語を発音し、使うことができる。	次回の授業の単語調べと本文確認。新しい文法事項を用いて英作文にも挑戦。
25	Lesson 7 ・前時の復習と小テスト ・本文読解と語彙・文法事項確認	・本文から歌がくれた勇気と希望を知る。 ・本文中の助動詞と完了形を理解できる。	次回の授業の単語調べと本文確認。各自でワークブックや問題集に取り組む。
26	Lesson 7 ・前時の復習と小テスト ・確認問題	・歌がくれた勇気と希望について理解できる。 ・本文の要約が出来る。	次回の授業の単語調べと本文確認。各自でワークブックや問題集に取り組む。
27	Lesson 8 ・本課の文法(仮定法・譲歩)と単語	・仮定法と譲歩表現について理解できる。 ・新出単語を発音し、使うことができる。	次回の授業の単語調べと本文確認。新しい文法事項を用いて英作文にも挑戦。
28	Lesson 8 ・本文読解と語彙・文法事項確認	・文化とことばの関係を知る。 ・本文中の仮定法と譲歩表現を理解できる。	次回の授業の単語調べと本文確認。各自でワークブックや問題集に取り組む。
29	Lesson 8とLet's Try 4 ・前時の復習と小テスト ・確認問題	・文化とことばの関係について理解できる。 ・本文の要約が出来る。	次回の授業の単語調べと本文確認。各自でワークブックや問題集に取り組む。
		期末試験	
30	まとめ	学習事項全体のまとめと授業アンケート	
総 授 業 時 間 数			60 時間